

8-Series & Icon Platform M+ Operational Guide



SOUND  **DEVICES**

Legal Notices

Product specifications and features are subject to change without prior notification.

Copyright © 2019 Sound Devices, LLC. All rights reserved. This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the product, and may be used in accordance with the license agreement. This document is protected under copyright law. An authorized licensee of this product may reproduce this publication for the licensee’s own personal use. This document may not be reproduced or distributed, in whole or in part, for commercial purposes, such as selling copies or providing educational services or support. This document is supplied as a technical guide. Special care has been taken in preparing the information for publication; however, since product specifications are subject to change, this document might contain omissions and technical or typographical inaccuracies. Sound Devices, LLC does not accept responsibility for any losses due to the user of this guide.

Trademarks

The “wave” logo is a registered trademark; SuperSlot, and Wave Agent are trademarks of Sound Devices, LLC. Dante is a registered trademark of Audinate. Windows and Microsoft Excel are registered trademarks of Microsoft Corporation in the U.S. and other countries. All other trademarks herein are the property of their respective owners.

Scorpio and Icon Platform M+ User Guide | Rev 1-A | 05/20/19

This document is distributed by Sound Devices, LLC in online electronic (PDF) format only. Published in the USA.

This table provides the revision history and cross-reference links to “what’s new” in this guide.

REV #	DATE	VERSION	DESCRIPTION
1-A	05/19	A	V1.0



Post Office Box 576
E7556 State Rd. 23 and 33
Reedsburg, Wisconsin 53959 USA
www.sounddevices.com

+1 608.524.0625 main
+1 608.524.0655 fax
800.505.0625 toll free
support@sounddevices.com

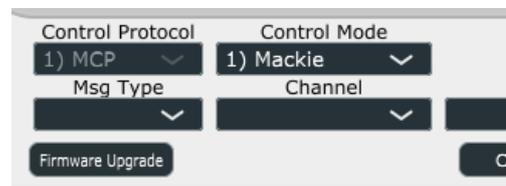
目次	3
Initial Setup	4
Mode Buttons – Mix, Bus, Out	5
Transport Control	6
Menu(RTZ) Button	6
Sel and HP(Zoom) Button	6
Com1, Com2, Slate(Chan) Button Back	6
Lock Button	6
補足	7

Initial Setup

INSTALLING FIRMWARE

最適なオペレーションのために、Sound Devices は Scorpio に特化した iCON Platform M+ firmware をインストールすることをお勧めします。この firmware は以下からダウンロードできます。
<https://www.sounddevices.com/product/scorpio/>

1. 以下から iMap アプリケーションをダウンロードしてください。
<https://iconproaudio.com/product/platform-m-plus/>
2. iCON Platform M+ を USB ケーブルでコンピュータに接続し、M+の電源を入れます。
 重要：iMap の自動アップデート機能のため、iMAP アプリケーションを起動する前にインターネットから切り離してください。
3. iMap を起動します。
4. "Upgrade Firmware" をクリックし、"Firmware Upgrade v1.04 About to Start"画面の中で OK をクリックして、次の手順に進みます。



ADJUSTING PLATFORM M+ FADER TOUCH SENSITIVITY

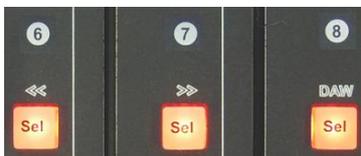
1. エンコーダ 2 を押しながら、Platform M+の電源を入れると、1つかそれ以上の数の Sel ボタンが点灯します。点灯している Sel ボタンの数がタッチ感度を意味し、ボタン 1 つ点灯が最も感度が高く、8 つ点灯が最も感度が低いです。
2. エンコーダ 8 を回して感度を調整してください。ボタン 1 つだけの点灯するように調整してください。もしエンコーダ横にある小さな赤い LED が 1 つか 2 つ断続的に点滅するようであれば、感度が高すぎます。
3. エンコーダ 8 を押すと調整値が保存されて調整モードを終了します。

ADJUSTING PLATFORM M+ FADER SPEED

1. エンコーダ 1 を押しながら、Platform M+の電源を入れると、フェーダーが上下にムービングを始めます。
2. エンコーダ 8 を回して、フェーダーの動作速度を調整します。
3. エンコーダ 8 を押すと調整値が保存されて調整モードを終了します。

SELECTING DAW MODE

4 つある DAW モードの MCP Mode で通信します。異なるモードで 8-Series に接続すると、"Coonect Failed Please Power Cycle Control Surface" とエラーメッセージが表示されます。



1. 電源を入れ、Ch-6.7.8 の Sel ボタンが点灯中にモード選択できます。
2. (1) MCP, (2) Logic Pro, (3) HUI, (4) User define の 4 つがあり、<< ボタンを押して一番左のオプション (1) MCP を選択します。
3. Ch-8 の Sel ボタンを押すか、モードセレクトの時間が経過すると、選択中のモードで iCon が起動します。

CONNECTION

1. 12-18 VDC の電源ソースを Platform M+の背面パネルの DC In に接続します。DC コネクタは、5mm 幅、センターピン+電極です。
2. Scorpio の USB-A ポートと Platform M+の USB-B ポートを接続します。必要に応じて、Scorpio の USB-A ポートに USB ハブを使用することができます。
3. Platform M+の電源を入れます。
4. Scorpio が Platform M+ と更新を始めると、iCON のディスプレイに "Sound Devices Scorpio Connecting..." と表示されます。

備考：Scorpio と Platform M+の通信が確立されると、Scorpio 本体のロータリーフェーダーと Trim ゲインは無効になります。

Mode Buttons – Mix, Bus, Out (Mixer, Read, Write)

MIX MODE

Mix (Mixer) ボタンを押します。これはミキサー操作を行うデフォルトのモードです。

Bank ボタンスイッチで、Ch 1-8, Ch 9-16, Ch 17-24, Ch 25-32 を切替えることができます。

FADER :チャンネルフェーダー

KNOB :トリムゲイン。ノブを押すと、trim と pan の調整モードを切り替えられます。

SOLO :チャンネル PFL

MUTE :チャンネル MUTE

SEL :Scorpio のチャンネル画面を開きます。ノブ 1-8 の役割は次のように変わります。

Ch 9	Source	Delay	Limit	HPF-On	EQ Low	>>
Boom	M16-Ph	15mS	On	120Hz	0dB 6.8kHz	2.0Q

KNOB 1 :チャンネルネームの表示 (リードオンリー)

KNOB 2 :チャンネルソースの表示 (リードオンリー)

KNOB 3 :ディレイ調整。押すと位相反転。

KNOB 4 :押すと、limiter on/off

KNOB 5 :回して HPF 周波数の調整。押すと HPF on/off。

KNOB 6,7,8 :回して EQ Gain, Freq, Q をそれぞれ調整。

KNOB 6 を押す :EQ band の bypass トグル切替。

KNOB 7 を押す :EQ の Low, Mid, Hi を切替。

KNOB 8 を押す :1 秒間押し続けると、EQ 全 band の bypass。'EQ Off' がディスプレイに表示。

NEXT BANK :右の Bank ボタンを押してから、ノブ 1-8 のいずれかをまわすと、Bus send 1-8 それぞれのゲインを調整。

BUS MODE

Bus (Read) ボタンを押すと、盤面で Bus マスターフェーダー 1-10, LR を操作できます。

Bank ボタンで、Bus 1-8 と Bus 9,10,L,R を切替えられます。

FADER :Bus マスターゲイン。

MUTE :Bus をミュート。

ARM :Bus をアーム。

SEL :選択された Bus の sends-on-faders モードに切替。

FADER :チャンネル send ゲイン

KNOB :チャンネルの Bus ルーティング [Off, Pre, post, Send]

SOLO :チャンネル PFL

MUTE :チャンネル MUTE

BANK BUTTONS :バンク切替。[Ch 1-8, 9-16, 17-24, 25-32]

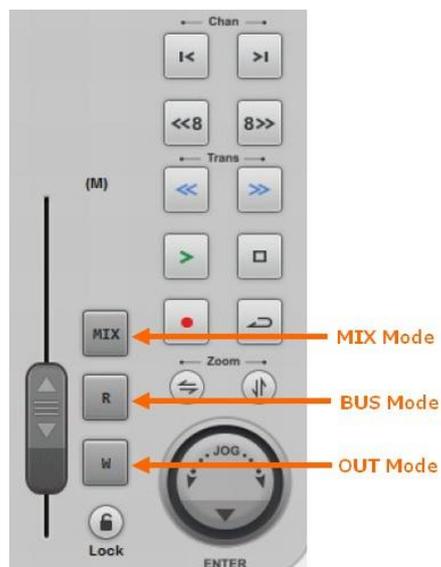
9TH FADER :選択された Bus 用のマスターゲイン

OUT MODE

Out (Write) ボタンを押すと、盤面で 1-10, LR, Hirose A と Hirose C のゲインを操作できます。Bank ボタンは、(X1-8) と (X9-10, L,R, Hirose A, Hirose C) を切替えることができます。

FADER :output アッテネーション

MUTE :output ミュート。



Transport Control

Rec, Stop, Play, <<, >> ボタンは、Scorpio のトランスポート・ジョイスティックと同様の機能です。

Menu(RTZ) Button

Scorpio のメイン Menu へのアクセスと、Menu から戻る機能です。Arm ボタンをロックさせた時(Menu > Controllers > Require Shift for Arm を On に設定)、RTZ を押しながら Arm ボタンを押してアームできます。

Sel and HP(Zoom) Button

ジョグホイールは、上記の2つのボタンにより2つの異なるモードに切替て操作できます。

SEL (LEFT ZOOM) BUTTON : ジョグホイールの回転と押下は、Scorpio の Select エンコーダをエミュレートします。

HP (RIGHT ZOOM) BUTTON : ジョグホイールの回転と押下は、Scorpio の HP エンコーダをエミュレートします。

Com1, Com2, Slate(Chan) Button – Talk Back

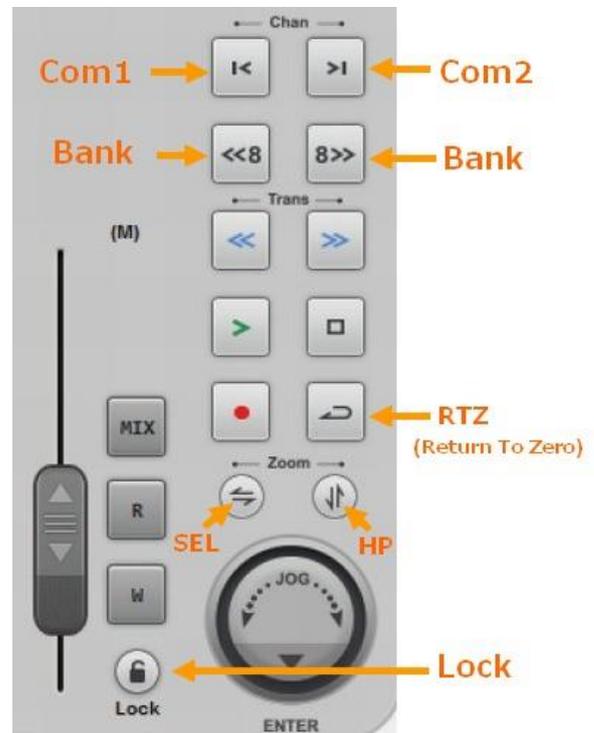
COM 1 BUTTON : Com 1 Send の有効/無効

COM 2 BUTTON : Com 2 Send の有効/無効

COM1 + COM2 BUTTONS SIMULTANEOUSLY : Slate の有効/無効

Lock Button

モータライズド・フェーダーの位置調整を無効にするロック機能です。



補足

Platform M+ と D2 の電源

Platform M+の電源プラグのサイズは 5.5mm(外径) x 2.1mm(内径)の一般的なものです。Platform M+を Scorpio と一緒に使う上で、D2 ディスプレイは必須です。

D2 ディスプレイの電源は、Platform M+の背面の FireWire400 ケーブル (D2 付属品) により給電されます。

Platform M+ を 2 台接続

Scorpio の Firmware Ver2.1 において、最大 2 台の Platform M+ を USB ハブ経由で Scorpio と接続することができます。Scorpio が 2 台の Platform M+を認識すると、16 本のフェーダーで 16 チャンネル分を操作できます。どちらかのレイヤーボタンを押すと、後半の Ch 17-32 が 2 つのコントローラに現れます。(両方のコントローラに同じチャンネル、例えば Ch 1-8、を呼ぶことはできません。)

USB 接続 :2 台の Platform M+に識別 ID の設定はありません。SCORPIO がスタンドアロンで起動した状態で、1 台目の Platform M+ を接続して、Ch1-16 が表示された後に、2 台目の Platform M+ を接続してください。

トラブルシュート

Platform M+が認識されない :Platform M+ 1 台だけを Scorpio の USB-A ポートに直接に接続していて認識されない場合は、(複数の USB デバイスを Scorpio に接続する必要が無くても) USB ハブを介して Platform M+を接続してみてください。

SOUND  **DEVICES**

Post Office Box 576
E7556 State Rd. 23 and 33
Reedsburg, Wisconsin 53959 USA

support@sounddevices.com

+1 608.524.0625 main
+1 608.524.0655 fax
800.505.0625 toll free

www.sounddevices.com